

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果(幡羅中学校)

平均正答率

(単位 %)

	国語	数学
幡羅中	65	57
埼玉県(公立)	65	57
全国(公立)	64.6	57.2

質問紙調査より

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値

(単位 %)

	質問事項	幡羅中	埼玉県	全国
生活習慣	朝食を毎日食べている	93.3	93.0	92.8
	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	80.5	80.4	79.8
	毎日、同じくらいの時刻に起きている	93.9	92.1	92.7
	新聞を読んでいる(週に1回程度以上)	11.1	8.2	10.4
学習習慣	家で、自分で計画を立てて勉強をしている	79.9	65.3	63.5
	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	88.3	80.1	74.6
	1・2年生のときに受けた授業で、課題解決に向け、自分で考え、自分で取り組んでいた	87.7	84.8	81.0
	学校の授業時間以外に、平日、1日当たり1時間以上勉強をしている(学習塾等で勉強している時間も含む)	85.5	80.5	75.9
教科への関心	国語の勉強は好きだ	61.4	61.2	60.8
	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	86.0	88.9	88.7
	数学の勉強は好きだ	67.6	58.3	59.1
	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	83.2	73.7	74.6
その他	自分には、よいところがあると思う	83.2	76.8	76.2
	将来の夢や目標をもっている	84.4	70.0	68.6
	人の役に立つ人間になりたいと思う	95.5	94.0	95.0
	今住んでいる地域の行事に参加している	52.5	38.7	43.7

幡羅中の「よかった点 (○)」と「課題 (●)」

【国語】

- 「話すこと・聞くこと」において、会話内の質問の意図を適切に捉えることができた。
- 「読むこと」において、登場人物の言動の意味を考え、内容を理解することができた。
- 「言語についての知識」において、漢字の読みや、語句の意味について適切に捉えることができた。
- 話し合いの話題や意図を捉えられるが、自分の考えをまとめること。
- 「書くこと」において、推敲したり、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意したりして、わかりやすい文章にすること。
- 敬語を適切に使い分けて、心情が相手に効果的に伝わるように文章を書くこと。

【数学】

- 各大問の(1)のような基本的な問題は正答率がたかく、基礎基本は身につけている。
- 無答数が少なく、問題を解くことに関して意欲を持って取り組んでいる。
- 与えられた情報を読み、関数等で数学的に解釈し、言語化して説明すること。
- 数学的な見方や考え方を問う記述問題。

【質問紙】

- 県平均や全国平均を上回っている項目が多く、特に一人一台配布されているタブレット機器の活用状況に対して高い数値を示している。
- 家庭学習を行っている生徒は多いが、教科によって将来への必要性に差がみられる。

課題への取組・改善策

【国語】

- ・書くことの苦手さを解消するために、毎時間や単元ごとの自己評価を文章で書かせることや、自分の考えを文章で書かせることを意図的に活動に取り入れ、抵抗なく自分の考えを文章で表現できる力をつけさせる。
- ・基本的な知識を確実に身につけさせ、敬語を使つての会話や手紙を書く活動などを通して、伝えたい内容を適切な敬語で表現できるようにしていく。その際に、誤答の中で多かった丁寧語を使用することだけで敬語が使えているという意識を変えていく。

【数学】

- ・数に関する事象を考察する場面では、成り立ちそうな事柄を予想し、予想を確かめ、事柄が成り立つ理由について筋道を立てて考え説明する時間を十分にとる。
- ・日常生活や社会の事象を考察する場面において、教科書の発展的な問題や入試問題等を活用しながら、解答するために必要な情報にアンダーラインを引かせるなどして、問題に慣れながら読解力を身につけていく。

【その他】

- ・各学年で家庭学習の目標ページを設定したり、タブレット機器を活用して個別学習に取り組ませている。
- ・教科を越えてお互いの授業を見合ったり、良い取り組みは共有したりして、先生方の授業力向上に努める。